

数波のストライキで『答申』を 粉碎し中曽根を打倒する

明日 午後

「運動方針」
白熱した討論
を通して満場一致で確認

大会速報 No.3

動労千葉第10回定期大会は2日目を迎え、「経過報告」を満場の拍手で確認した後、「数波のストライキで『分割・民営化』10万人首切りを打ち破る』との断固たる「運動方針案」が提案され、四時間におよぶ白熱した討論が展開された。

心こもる連帯のあいさつ

大会2日目（※）は、午後の議事再開の冒頭、大会にかけつけられた来賓の方々から連帯のあいさつをうけた。

顧問弁護士・葉山岳夫氏

動労千葉顧問弁護団の葉山岳夫弁護士は、「中曽根は、国鉄労働運動とリゆけ動労千葉と三里塚を闘う勢力に焦点をあてているか、ストで必ずや粉碎できる」と信じている。国鉄労働運動破壊集団の動労革マルに未来は無い。皆さんと共に全力で闘う」と述べられた。

顧問弁護士・一瀬敬一郎氏

また一瀬弁護士からも、「中曽根の凶暴な攻撃の中で、動労千葉が真正面から受けてたち、反撃にうつって出ることを確信する」と述べられた。

全関西実行委・永井満氏挨拶

つづいて、関西からかけつけられた全関西実行委員会の永井満代表が登壇され、「関西の住民・市民運動が大きく盛り上っている。これらの人々は、動労千葉のように闘おう。あのように闘えば勝てる」と確信した上、うってきこえる。闘いぬげならぬ時に敢然と闘い、勝利してきた



熱い激励のあいさつを
とれる 永井満氏

皆さんが必ずやこの闘いにも勝利するだろう。それを祝う日かくることを確信する」との連帯のあいさつをされた。

全関西実行委・加辺永吉氏（明石）

さらに明石住民の会の加辺永吉氏は、「先日の役員会で『三里塚』と『動労千葉』の二本柱を再確認しようということを確認した。言葉だけではない動労千葉の闘いは大きな励ましであり、全国の心ある人達の基盤となっている。勝利まで共に闘いぬきたい」との熱い決意が述べられた。

「運動方針」めぐり白熱した討論

ワ支部分科、11代議員から発言

大会は、「組織・財政検討委員会報告」が松崎検討委員長から、「一九八五年度予算案」が水野副委員長から提案された後、「運動方針の質疑応答」に移り、白熱した討論が展開された。11名の代議員から、次の意見・質問が出された。

各発言の要旨は次号に紹介する。

《大会速報・第三報・おわり》